

作成日：西暦 2025 年 7 月 17 日

研究に関する情報公開文書

研究課題名：

リハビリテーション室の除菌清掃頻度とモニタリング方法の検討
－ ATP 拭き取り検査（A3 法）を用いて －

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長許可を得て実施しています。

1. 研究の対象

藤田医科大学七栗記念病院リハビリテーション部が管理している、リハビリテーションで使用する各種備品と業務上使用する備品

2. 研究目的・方法・研究期間

リハビリテーション室には、様々な評価機器や治療機器があります。リハビリテーション室における院内感染防止策は、職員・患者さんの手指衛生の励行や環境表面の清掃がありますが、多岐に渡る機器や備品の環境表面の清掃頻度については一定のコンセンサスは得られておりません。

環境表面の汚染リスクの指標の1つとして、アデノシン三リン酸（以下、ATP）があります。清掃頻度を設定するために、各種備品の環境表面の ATP を調査しました。この調査結果を後方視的に分析し、汚染リスクに応じて清掃頻度を設定することができれば、感染リスクを軽減できる可能性があります。また、未使用の備品の ATP と菌量の経時変化を調査し、時間と ATP 変化および菌量変化の関係が分かれば、汚染リスクの理解に繋がります。

検討 1：除菌清掃頻度を設定するために 100 箇所の測定ポイントで調査した ATP 測定値と、さらに 20 箇所を抽出して備品使用後の消毒前と消毒後の 2 時点で調査した ATP 測定値を後方視的に分析します。

実施期間：2025 年 4 月～6 月

検討 2：杖のグリップに対し、ATP と菌量の経時変化を調査します。

実施予定期間：2025 年 10 月～2026 年 5 月

研究期間は、倫理審査委員会承認日～2027 年 12 月 31 日を想定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・ ATP（ルシフェラーゼと反応させた際の発光量）
- ・ 一般生菌数、大腸菌群、黄色ブドウ球菌

4. 外部への試料・情報の提供

一般生菌数、大腸菌群、黄色ブドウ球菌を調査するために、株式会社ビー・エム・エルに試料を提出します。

細菌・抗酸菌検査依頼書を株式会社ビー・エム・エルに提出することで、環境検査の外部依頼をし、株式会社ビー・エム・エルから試験結果報告書を受け取ることで、外部依頼手続きが完了となります。

5. 研究に関する業務の委託

菌の培養検査は、株式会社ビー・エム・エルに業務委託します。

6. 特定されない将来の研究のための試料・情報の使用・提供

将来的に、ATP 測定を実施した場合等に、今回取得したデータを比較データとして用いる可能性があります。研究とは異なりますが、本研究で得られたデータは、教育目的の使用や、より良い環境衛生対策のために活用する可能性があります。

7. 研究組織

本学の研究責任者：

藤田医科大学 医学部リハビリテーション医学講座 教授 大高 洋平

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

相談窓口： リハビリテーション部 課長 富田 憲

連絡先： 藤田医科大学七栗記念病院 リハビリテーション部

〒514-1295 三重県津市大鳥町 424 番地 1

Tel: 059-252-3138

E-mail: k-tomida@fujita-hu.ac.jp

9. 利益相反

使用する研究費は藤田医科大学医学部リハビリテーション医学講座のインセンティブです。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。